



■ ご案内: 放射能汚染セミナー開催決定 テーマ「富山県の土壌に残留する放射性セシウム」 ～富山県の放射性セシウムが我々に教えてくれること～

今年の「放射能汚染セミナー」は、丸茂克美さん（富山大学理学部生物圏環境科学科教授）を講師にお迎えして開催することになりました。

丸茂教授は大学生や大学院生と共に富山市内、およびその周辺の丘陵の未耕作地の土壌を採取して、放射性核種の測定を行い、測定結果をまとめて発表されました。

富山県には様々な岩石や土壌が分布しており、こうした岩石や土壌中に含まれる自然の放射性核種（カリウム 40 やトリウム 232 など）に加えて人工の放射性セシウム（セシウム 137）の検出が報告されています。

今回のセミナーでは富山県の土壌に存在する放射性セシウムについてお話をいただき、富山県の大地からの放射線量の実態を明らかにしていただきます。

多くの方のご参加をお待ちしています。

★★★★★★

- ・実施日：11月6日（日）
- ・時間：13:30～16:00
- ・場所：富山市湊入船町 6-7
サンフォルテ 305
- ・参加費：500 円
（託児に関してはご相談ください）
- ・お問合せ：070-5062-7334



■ 報告: PEACE WORLD Tシャツ 完売御礼！

一昨年9月末にオーガニックコットンでダイオキシン類を含まないインク使用のTシャツを100枚作りました。

NO NUKES の文字を時計回りに配置デザインされたハトがプリントされています。この図柄は、「はかるっチャ」のロゴマークをデザインされた朝日町在住のデザイナーさんのオリジナルです。

直接Tシャツをご購入いただいた皆様、宣伝・販売にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

おかげで今年の8月初旬に、1年10ヶ月で231枚が完売となり、計9万円を「はかるっチャ」にカンパすることができました。

素肌にとっても気持ち良く、色も優しいと喜んでもらっています。街でこのハトに出会うとうれしいです。海外へも飛んで行っています。また、どこかで会えることを楽しみにしています。



（Tシャツプロジェクト担当：川原）

■ おしらせ:『私たちの放射線副読本』 増補版完成！増補部別冊もできました

「とやま原子力教育を考える会」（道永麻由美代表）が昨年5月に完成させた『私たちの放射線副読本』の増補版が今年6月に完成して注文受付を始めています。

同副読本は富山県内の全小・中・高・幼稚園ならびに県下の全図書館へ寄贈されて、初版印刷の2,000部全てが世に出たということでした。

「二度と同じ過ちを繰り返さない」との思いで作成された副読本でしたが、2015年8月に鹿児島島の川内原発が再稼働し、さらに福島原発事故から5年を経過した現在の福島の現状から、「とやま原子力教育を考える会」の皆さんは新たな決意をもって増補版の作成に臨んだそうです。

増補版には、再稼働と福島への帰還政策の問題がまとめられています。また、すでに初版を購入済の方のために増補部分を別冊としても用意されています。増補版や増補部別冊の注文については、同会へ直接ご連絡（090-7083-8190）ください。



■ 報告:夏休み親子放射線なぜなぜ教室

夏休み特別企画として「親子放射線なぜなぜ教室」をひらきました。参加者は子ども3名、大人4名でした。子どもたちの学年は小学2年生が2名、6年生が1名です。

過去に「はかるっチャ」は消費者・生協サークルなどの申込みを受けて、小規模学習会を実施しています。親子で参加する学習会は参加した子どもの年齢に合わせて、話す内容には多少の変化をつけていますが、基本的な学びの要点は以下の項目です。

- 1) 「被ばく」について、その言葉の意味を知ろう。
- 2) 放射線ってなんだろう。
- 3) 「自然放射線」と「人工放射線」の違いは？
- 4) 「外部被ばく」と「内部被ばく」を知ろう。
- 5) 被ばくすると人間の身体はどうなる？

放射線なぜなぜ教室は、子どもたちと一緒に考えることを大切にしています。紙芝居を利用して、わかりやすい説明を行っています。保護者の方々からは、食品の放射能汚染についての質問を受けて、自然に情報交換の場となりました。なお、参考書として『私たちの放射線副読本』（増補版）を使い、参加者から好評を得ました。



■ 沢山の寄附金をありがとうございました

今年3月から7月までの期間限定で「はかるっチャ」存続のための寄附金（目標金額50万円）をお願いしましたが、現在で頂いた寄附金が40万円となりました。支援金をお寄せいただいた皆様に深く感謝致します。ありがとうございました。なお皆様から3回の無料測定をお受けいたしますので、依頼をされるときにその旨をお伝えください。どうぞよろしくお願い致します。

